

令和7年度 学校生活のきまり

1 あいさつ・礼儀・態度

(1) 登校時、授業の始めと終わりなど、気持ちの良いあいさつができるようにします。

(2) お互いに礼儀正しく、言葉遣いに注意する。→丁寧に話すよう心がけます。

(3) 年上の人（先生、保護者、来校者）に対して態度、言葉遣いで対応し、廊下ですれ違った時にはマナーとしてあいさつ（会釈）します。

小学校と違い、この中学生活で義務教育は終了です。年上の人に対して「敬語」「丁寧な言葉遣い」で接することができるよう、田園調布中学校では「言葉遣い」についても指導をしていきます。

2 登下校

(1) ・8時25分（チャイムの鳴り終わり）までに自席に着いていなかった生徒は遅刻となります。登校時間（8時00分以降）朝礼の時は荷物を一度教室においてから8時25分に体育館で整列できるようにします。

・登下校の際、歩道にいっぱいに広がらず、交通規則に従って行動する。校外でも田園調布中学校の生徒であるという自覚をもちましょう。

・8時20分までに正門を通過し、余裕をもって教室へ向かうようにこころがけます。

・「緑のすのこ」は外ばきのまま上がってはいけません。

・8時25分～8時35分は朝読書の時間です。登校したら朝読書用の本を机の上に準備しておきましょう。

(2) 自転車での通学はいかなる場合も認めていません。区域外通学の生徒が最寄りの駅まで自転車を利用することも認められません。

・再登校の場合、標準服、または学校指定のジャージを着用して登校します。休日の部活動についても同様です。

(3) 欠席、遅刻の連絡

・欠席、遅刻は8時10分までに必ず保護者を通じて電話か学びポケットで連絡をしてもらいます。事前に分かっている場合は生徒手帳の「家庭からの諸届け」に保護者がその理由を記入・印をもらい、担任に届けます。

・遅刻をした場合は、必ず職員室に寄り、「遅刻者カード」をもらい、教室に向かいます。（直接教室へ行ってはいけません）

(4) 下校時刻を守る

・下校時刻は月・火・木・金は15：45、水曜日は14：50です。

・部活動等の最終下校時刻は18：00分です。

3 授業

(1) 授業中は担当教科の先生の話をよく聞き、集中して授業を受けます。他人の迷惑になるような行動は厳禁です。授業が中断したり、予定の内容が進まなかったりするとクラス全体に迷惑がかかります。学校生活の中心は「学習活動」です。

(2) 10分休み時間は次の授業の準備時間です。授業開始に遅れないように、また教室移動がある授業には、早めに教室移動をしておきます。

(3) トイレは休み時間に済ませます。（授業中は原則トイレにはいきません）

(4) 授業中は許可なく立ち歩きません。

(5) 授業中は授業に集中し、授業に関係のないことはしません。

4 服装

(1) スカート、スラックス

- ・スカート丈は膝が隠れる程度の丈の長さとします。
- ・スラックスは自分に合ったサイズのものを着用します。
- (ベルトをしっかりと締め、下がらないようにします)
- ・夏服のポロシャツに関しては、ズボン・スカートから出してよいものとする。

(2) ネクタイ・リボン

- ・ブレザー着用の際は必ず着けるものとします。
- ・忘れた場合、教員室に報告し、生徒手帳と引き替えに借り、下校時に返却します。

(3) 靴

- ・通学用の靴は動きやすい運動靴とします。黒の革靴でもよいですが、その場合は体育の授業時に使用する運動靴を用意しておきます。
- ・上履きは学校指定のものを用い、かかと部分に記名をします。
- ・上履き、外履き共に、かかとを踏んで使用することは認めていません。サイズが小さくなった場合、サイズの合うものを用意します。

(4) 防寒着

- ・手袋・マフラーについては特に規定していませんが登下校時のみの着用とし、教室での着用はしません。防寒用としてのみ使用し、帰り学活、帰りのあいさつ終了後着用します。
- ・寒い場合には、ひざかけを使用してもよい。(背中にかけたりせず、正しい使用の仕方をする。)

(5) セーターについて

セーターを着用してもよい。

- ・登下校時、式典や全校朝礼など全校で集まる場合には、ブレザーを着用する。

5 カバン

- ・平成29年度9月1日より通学カバンが自由化されました。ショルダーバッグは使用可能ですが、両肩に背負うような使用方法はしません。両肩に背負うのならリュック式のものを使用します。
- 部活動に参加し、部活用の荷物を入れるカバンを使用する際、登校後、所定の位置に置き、部活動の活動時間まで使用しません。個人の管理となるので記名を必ず行いましょう。
- (各教室の戸棚の使用については担任の先生の指示に従う)
- ・自分のカバンの目印としてキーホルダーを取り付けてもかまいませんが、一つのみとします。大きなもの、音の出るもの、光るものは不可とします。

※休日の部活動、部活再登校以外での部活用バックのみでの登校は認めていません。

6 髮型

- (1) 極端な加工の頭髪は認めません。
- (2) 清潔で中学生らしい自然な髪型とします。
 - ・前髪が目にかかるないようにする。
 - ・リボンやかざりは認めません。

(使用しない髪ゴムはポケットにしまい、腕にはめないこと)
- (3) 整髪料、ワックス、化粧は認めません。

7 その他

- (1) 公共物を大切に使います。誤って破損した場合はすぐに近くの教員に報告し、指示を受けます。破損の状況によっては危険がないように特に注意します。
 - ・机、イス、教室や廊下などに落書き、いたずらをしません。
 - (机、イスも公共物、清掃時、イス、机を引きずらない)
 - ・教室、特別教室にある物品は大切に使用し、持ち出すことはしません。
- (2) 所持品・・・におい・音のするもの（電池を使用するもの）は学校生活に必要ないので校内には持ち込むことはできません。
 - ・持ち物は記名をし、使用します。
 - ・学習に必要なものは持ってきてはいけません。
菓子・マンガ・雑誌・ゲーム・うで時計・携帯電話・電子辞書はもってきてはいけません。
(違反物は預かり証を発効し、学校で預かり、保護者に返却します)
 - ・貴重品（お金）は持参しない。集金などでお金を持ってきた場合、朝学活で担任の先生に預けます。
 - ・くし・ブラシ・薬用リップは使用してもよいが、使用する際は時と場所を考えます。
- (3) 他学年、他教室、他学年フロアへ行きません。
※ただし、図書室は2学年のフロアなのでこの限りとはなりません。
 - ・同学年でも他クラス教室へは入りません。少人数クラスで他教室を使用したり、係や委員会活動で他クラス教室へ入る際は机の中や、カバンなど他生徒のものに触ってはいけません。
※自分の机を離れ、戻ってきたときに同じ状態であることが原則です。他生徒の持ち物に勝手にさわらないこと。
 - ・他人に迷惑をかけない学校生活を送るため、廊下に座り込んだり、校舎内で走り回ることは禁止事項です。他生徒にぶつかったりしないように、落ち着いた学校生活をおくります。大きな声で騒いだり、気分を害するような行動をしてはいけません。
- (4) 昼休みの過ごし方
 - ・休み時間は気分転換の時間です。天気の良い日はなるべく外に出て、体を動かしましょう。校舎内では静かに過ごし駆け回ったり、走ったりしません。
 - ・予鈴に注意し、5時間目の授業に遅れないようにします。
 - ・昼休みに体を動かし、服装が乱れたままで授業に行かないよう、互いに声をかけ、身なりを正します。
- (5) 学習に関するものの持ち帰りについて
教科書・ノートは各自の判断で持ち帰ります。タブレットは充電などあるため、原則持ち帰ります。

(6) 教員室・事務室に用事のある場合

- ・教員室に用事のある場合、1. 3年昇降口側の扉前でノックをし、自分のクラス、名前を告げ、用件を伝えます。
- ・事務室や主事室に生徒だけで物品を借りに行くことはできません。

(7) 電車、バス利用について

- ・電車、バス利用の生徒は、公共交通機関を利用しているということを十分に理解し、乗車マナーや他者への思いやりの気持ちをもって利用してください。
- ・公共の交通機関では「遅延による遅れ」が発生することがあります。遅延届けが出た場合でも交通機関による「遅延」が発表されない場合、「遅延による遅刻」が認められません。
- 「遅延」の確認が取れた場合のみ、遅刻となりません。

(8) 水筒の中身について

- ・中身は水、お茶、スポーツドリンクとする。
- ・ペットボトル、紙パック、缶は禁止。
- ・授業中に水分補給する場合は、マナーを守り、授業を中断しないように配慮する。

(9) SNSの利用の仕方について (令和4年度より生徒手帳に記載)

「でんちゅうで、やりとりできる、通信は、23時が、ルールです」

「何気なく、載せた写真は、完全に、消すことできない、この仕組み」

「悪口や、誹謗中傷、書き込んで、大事な友人、失うな」

「考えよう、それでいいのか、その送信、送った後は、取り消せない」

「パスワード、管理は重要、IDも、個人情報、保持保全」

これらのルールを守りながら、「望ましいSNS環境と付き合っていくこと」をここに宣言し、「田園調布中学校SNSルール」にしたいと思います。

田園調布中学校ではルールの意味を理解し、守る生徒を育成していきます。

社会の中で許されないことは、学校内でも同じです。相手のことを思いやる気持ちをもつ田園調布中学校の生徒を目標にしています。